

令和4年度第3回 広島支部評議会議事概要報告

開催日時	令和5年1月13日（金） 15：00～17：00
場 所	広島コンベンションホール
出席議員	（学識経験者）江頭 大藏、畑 雄太 （事業主代表）今井 麻衣子、中島 潤子 （被保険者代表）藪本 敬士、福島 淳仁、和田 利樹（敬称略）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度広島支部保険料率について 2. 令和5年度広島支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について 3. インセンティブ制度に係る令和3年度実績について 4. 令和4年度広島支部事業実施状況について
議事概要 （主な意見）	
議題1. 令和5年度広島支部保険料率について	
<p>事務局より「令和5年度広島支部保険料率」について、資料に沿って説明。個別の意見等については、以下のとおり。</p> <p>（事業主代表）コロナの影響により、受診控えが増え、医療費が減ったと聞いているが、その後の医療費の動向はどうか。</p> <p>⇒ 令和2年度は全国的に受診控えがあり、特に比較的大きな支部に受診控えの影響が多くあった。令和3年度において、コロナ前の医療費に戻る傾向となったが、結果としては、広島支部は医療費の伸びが平均よりも低く、大規模な支部よりも受診が少なかったことが、今回、広島支部保険料率が大きく低下した要因である。</p> <p>（事業主代表）支出をみても高齢者に対する支援金等による負担が大きいが、協会などの加入者は3割負担で、その当事者である高齢者の自己負担が現役並み所得者のみ3割と抑えられていることに疑問を感じる。</p> <p>⇒ 令和4年10月から後期高齢者で一定の収入がある方に対し、2割負担が導入されている。協会としては日本最大の被用者保険の保険者として、現役世代の負担軽減に向けた働きかけを継続していきたい。</p> <p>（被保険者代表）保険料率が10%を切ったことは大変驚きで、物価が上がるのがよく報道される中、保険料率の引下げは率直に嬉しい。広島支部の努力の賜物と感じており、引き続きこの状態が続くよう努力をお願いしたい。一方で、介護保険料率が今後下がるための良い材料はないのではないか。</p>	

議題2. 令和5年度広島支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

事務局より「令和5年度広島支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）」について、資料に沿って説明。個別の意見については、以下のとおり。

（学識経験者）ジェネリック医薬品取扱い優良薬局認定及び表彰の事業に関連して、医師から発行される処方箋に対して、薬局側ではどの程度裁量があるのか。

⇒ 医師が先発医薬品を指定された場合、薬局側でジェネリック医薬品を処方することができない。一方、一般名で処方された場合は、患者のニーズに応じて薬局側にジェネリックを処方するかどうか説明する必要がある。広島支部では一般名処方率が高いが、ジェネリックの使用割合が低いため、どこにボトルネックがあるのか今後分析のうえ、アプローチしていきたい。また、ジェネリック医薬品におけるメーカーの不祥事以降、医薬品の安定供給の問題が尾を引いている。

（事業主代表）マイナンバーカードが普及しているが、企業側として準備することはあるのか。

⇒ 現時点において、事業主側で特段実施していただくことはないが、今後何か必要となった場合、お知らせする。

議題3. インセンティブ制度に係る令和3年度実績について

事務局より「インセンティブ制度に係る令和3年度実績」について、資料に沿って説明。個別の意見については、以下のとおり。

（被保険者代表）これまでのインセンティブ制度の順位について、上位の支部は固定されているのではないかと。制度として問題がないか意見が出ていないのか。

⇒ 現行のインセンティブ制度は大規模支部には不利との意見から、評価指標の実績と伸び率において伸び率をより反映できるように見直しを行った。上位は同じ支部が独占していることはないが、小規模支部が有利な仕組みではある。広島支部として、ジェネリックについては保険者だけでは利用促進が難しいので広島県や関係機関と連携を図る一方で、保健事業については「健康づくりの好循環」の浸透・拡大を図っていき、インセンティブの獲得に努めたい。

（事業主代表）事業主の立場からすると、まずは健診の受診率を上げることからと考える。特に胃カメラは自己負担となっており、自己負担が軽減されるような仕組みが必要。

⇒ 令和5年度から生活習慣病予防健診の自己負担が引下げとなるので、更に健診受診率の向上に努めていく。また、胃カメラについては、現段階では制度上、差額の補助ができない。

（事業主代表）ジェネリックを使用されていない方の傾向を把握し、アプローチしていくことが必要ではないか。

⇒ 特に外用薬は他の医薬品に比べて、使い勝手から先発医薬品を好まれる傾向がある。また、精神疾患の方は先発医薬品の割合が高い傾向である。

議題4. 令和4年度広島支部事業実施状況について

事務局より「令和4年度広島支部事業実施状況」について、資料に沿って説明。個別の意見については、特になし。

特記事項

傍聴者1名（経済レポート）